

2020年3月26日

ばあとなあ名簿登録会員 各位

愛知県社会福祉士会
愛知ばあとなあセンター長 工藤明人

新型コロナウイルス感染拡大に伴う後見活動の対応について（お願い）

新型コロナの影響に加えて年度末の落ち着かない日々をお過ごしのことと存じます。

2020年3月24日付けで日本社会福祉士会より「新型コロナウイルス感染拡大に伴う後見活動の配慮について（依頼）」が発出されています。

皆さまの地域におかれても、国の要請に基づき、地域の実情に応じた対応要請が示されているところです。被後見人等ご本人の生活拠点となっている、施設や病院の多くのところで当面の面会禁止、面会制限が実施されています。

ばあとなあセンターでは、被後見人の生活状況の把握や身上保護・配慮のために月1回は訪問し、ご本人と面談をすることを基本的な実務として示していますが、このような状況下においては、ご本人の居所の対応要請に則り、必要に応じた対応をお願いします。

後見人自らが発熱等の症状が見られる場合は、ご本人との面談は控えること、緊急やむを得ない場合は、後見人に代わって行える支援関係者に対応を依頼するなど、臨機応変の対応を心がけてください。

訪問面談が困難な場合であっても、電話連絡等で支援関係者を通じてご本人の生活状況や心身状況を把握することは可能と思われます。緊急時であっても可能な範囲で後見人等としての責務を果たすことをそれぞれが自覚してこの事態を乗り切ることが求められると考えます。